



急速に少子化が進み、人口減少時代を迎えようとしている中で、成人式の感想を申し上げます。

振り返って、わが国では第一次ベビー・ブームの昭和二十二年から二十四年ごろには、年間出生数が約二百七十万人でありましたが、現在では、半分以上の約百十万人程度であり、年少人口が急減しております。

本市の成人式該当者も、昭和四十五年の千百三十七人から、平成十八年は六百九十八人と、だんだん減少しつつあります。

私は、今年の成人式で新成人の皆さんに次のようなメッセージを、大きな期待を込めて贈りました。

『平成十八年の新春を迎え、新成人の皆様には、併せてめでたく成人の日を迎えられ、重ねてお祝いを申

上げます。

一人前の大人として、社会的責任が課せられると同時に、国民最大の権利の一つである選挙権を手に入れました。

わが国は、いよいよ人口減少時代に突入しようとしておりますが、社会の活力を發展させるために、若人への期待は、ますます大きくなってきております。

二一トと呼ばれる若者のこ



とが心配されておりますが、人間は社会的存在として堅実な生活が求められます。

まず何よりも、日常のあいさつがしっかりとできることが社会生活の基本であり、お互いに会話を通して人の和を構築することが大切であります。

『二期一会』といいますが、その昔、孟子は天の時・地の利・人の和について「天の時は地の利に如かず、地の利は

人の和に如かず」と教えておられます。社会が安定し安心できるものとなるためには、「人の和」がいかに大切かを物語っております。

この四月から始まります平成十八年度は、今後十年間の行財政の指針を定めた「第五次土岐市総合計画」がスタートする年であります。

さらに四月からの新年度は、泉小学校の全面改築の完成、

少子化の中で 成人式に想うこと

——新時代を築く若人に捧ぐ——

土岐市長

塚本保夫

します。

明治維新の例を見るまでもなく、時代の転換期に重大な役割を果たしてきたのは、常に若者であります。

新成人の皆さんに期待するところ大きなものがあります。

皆さんの洋々たる前途を祝福して、お祝いの言葉いたします。』

豊かで平和な時代を持続する上で、次代を担う貴重な世

ウトレット」が開店いたしました。

いよいよ本年は、さらに新たな企業立地を求め、東濃研究学園都市構想を着実に推進して産業構造の高度複合化を進め、若者にとつて希望の持てる職場を確保し、雇用の拡大を図りながら、成熟社会における持続可能な地域活性化を推進することが、これから重要な政策課題であると存

代であります青年が「二一ト状態」にあるとすれば、誠にもつたいないことであり、一刻も早く解決せねばなりません。

素晴らしい性能の自動車でも、ギアが二ニュートラルでは、情性で動いてもやがて止まるか、下り坂を暴走するかとあります。

しっかりとした人生の目標を定め、着実にギアをドライブに入れて真剣に運転を続けられ、必ず目的地に到着することができると信じております。

「若いときの苦労は買ってでもせよ」といいますが私は苦境に陥ったときの心構えとして、「人生で迷ったときは棘の道を選択せよ」という教訓は貴重であると存じます。

新成人の皆さんの獅子奮迅のご活躍を期待してやみません。